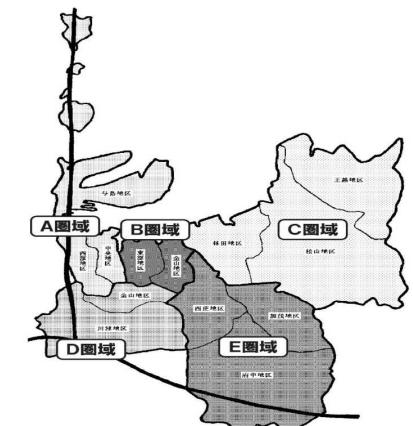


Sakaide,Kagawa

坂出市の概要

- 01 人口が約5万人
 - 02 濑戸大橋の四国側の玄関口
«3つの島(橋でつながっている)がある»
 - 03 日常生活圏域は5圏域
 - 04 高齢化率が約35%
«市街中心部は33.8%、市街から離れると38.4%となり、地域差がみられる»
 - 05 関係機関からの認知症に関する相談件数の増加
- 「チームオレンジ」の結成を通して
認知症のかたを支える地域づくりを行いたい



「チームオレンジ」とは

本人、家族、認知症サポーター等が中心となつて、認知症のかたの見守りや支援を行う活動です。本人もメンバーとして参加します。

- 01 認知症のかたや家族の困りごとに対する相談や支援
- 02 認知症のかたのやりたいことのお手伝い
- 03 認知症のかたが活躍できる場を提供

[ステップアップ実施主体]

市町村認知症サポーター
キャラバン事務局

市町村キャラバン・メイト
連絡協議会委託可

ステップアップ研修



認知症サポーター

チームオレンジのメンバーへ



チームオレンジの3つの類型

第1類型

共生志向の標準タイプ

活動拠点を設置して活動
(ex.市役所、公民館)

第2類型

既存拠点活用タイプ

既にある地域資源を活用
(ex.認知症カフェ、介護予防教室)

第3類型

拠点を設置しない個別支援型

拠点をつくらずに支援を行う
(ex.健幸ウォーキング、自宅訪問)

坂出市の取組み

01 認知症のかたや その家族が交流できる場

認知症カフェ 「さかいでオレンジ かふえ」



03 認知症への理解を 深め、啓発する活動

世界アルツハイマー デー in さかいで



02 認知症のかたなど 地域住民が参加できる場

さかいで健幸まつり &介護の日

04 認知症への理解を深め 地域とともに暮らしていく 方法を学ぶ講座

認知症サポーター養成講座
認知症サポーターステップ
アップ講座
市民後見人養成講座



実績(R6年2月末時点)

- 01 認知症サポーター
養成講座(計4,844名)
- 02 認知症サポーター
ステップアップ講座
(計82名)
- 03 市民後見人養成講座
(計32名)

目的

認知症のかたや家族が安心して暮らせる地域づくり

現 状

- 01 ▷▷ 運転免許証返納に伴う家族間のトラブルに対する相談の増加
- 02 ▷▷ ものとられ妄想による相談の増加
- 03 ▷▷ 徘徊の相談件数の増加
- 04 ▷▷ 新聞だまりの連絡の増加
- 05 ▷▷ 虐待件数の増加
- 06 ▷▷ 認知症初期集中支援チームの相談件数の減少



コロナ渦で施策が一部制限された結果、地域社会の支え合い機能の衰退が顕在化

目 標

- 01 ▷▷ 認知症のかたや家族が相談できる場所や気軽に利用できる場所をつくる
- 02 ▷▷ 認知症になっても役割をもち、そのかたらしい生活が行えるようにする
- 03 ▷▷ 地域住民の認知症への理解が深まり、適切な支援を理解することができる
- 04 ▷▷ 地域住民が、認知症のかた等と自らのできる範囲内で支援や活動を行っていく

学生にお願いしたいこと

新しい視点

- 01 理論的な発想
- 02 クリエイティブな発想

地域力の再生

- 01 地域住民のもつ経験・実践
- 02 地域のもつ潜在的な力

新たな価値

- 01 坂出市の課題を解決する新たな認知症施策
- 02 新たな地域資源の発掘

『ゼロベース』から、学生・住民とともに高齢者を支える地域づくりを行っていきたい

学生とのスケジュール

5月 オンライン会議(事業説明)

6月 オンライン会議(課題分析)

7月 オンライン会議
(フィールドワーク実施前の打ち合わせ)

7月 フィールドワーク実施
(チームオレンジの運営参加・交流)

8月～9月 オンライン会議(今後の共有)

10月 オンライン会議
(フィールドワーク実施前の打ち合わせ)

11月 フィールドワーク実施
(チームオレンジの運営参加・交流)

12月 オンライン会議(中間報告)

1月～3月 オンライン会議(最終報告)

住民とのスケジュール

3月 顔合わせ

4月～6月 チームオレンジ結成に向けての
話し合い(数回実施)

7月 チームオレンジの活動(1回目)

8月～10月 振り返りおよび次回の活動に向けて
の話し合い(数回実施)

11月 チームオレンジの活動(2回目)

12月～2月 振り返りおよび次回の活動に向けて
の話し合い(数回実施)

3月 来年度の活動について

学生・住民の意向を最重視して
進捗を支援していきたい

*スケジュールは大きく変更する可能性あり